



寒さが厳しくなり、体調管理がとても難しい季節になりました。インフルエンザや胃腸炎等が流行してきています。手洗いやうがい等の風邪の予防、規則正しい生活リズム、適度な運動を心がけて、この寒さを乗り越えていきましょう。

## 「性教育」勉強会を開催しました



11月23日に「当事者を支援するための性教育を考える」をテーマとして、ハートブレイク思春期研究所の黒瀬清隆氏を講師に招き、研修会を実施しました。当日は、障がいがある当事者の方や家族、支援者合わせて70名の方に参加をしていただきました。

第1部は、講師の方の手作り教材を使用しながら、主に当事者向けに話をさせていただきました。お母さんのお腹の中から私たちがどのように誕生してきたかを知り、家族に大切にしてもらいながら自分たちがこの世界に誕生したことはとても素晴らしいことであることを実感しました。また、これから恋愛や結婚を目標にしていくために大切にしていきたいことを学びました。



第2部は家族や支援者を対象にして、障がいがある方たちが幸せを目指していくために、また、支える人たちも一緒に幸せと感じていくための性の伝え方を学びました。以下、印象に残った点を紹介させていただきます。

### 【性に対する行動の捉え方について～質問事項から】

#### ・性器を触ることについて

→ 性器がしっかり洗えていないと、かゆみが出る可能性があります。清潔さを保つことで、性器を触ることが少なくなった事例は多いとのことでした。

#### ・家族や支援者に対しての身体接触について

→ まずは行動の意味、原因を考えていくことが大切です。そして、「～なら良い」と代替案を具体的に伝えていきます。

#### ・異性の子どもとの入浴について

→ 参加者からは、「小学校低学年まで」、「中学校まで」等、色々な意見がありました。先生からは、家族、子どものどちらかが別々にと思った時がタイミング。それぞれの家族の状況に合わせて良いのではと話がありました。

#### ・自慰行為について

→ キーワードは、「清潔、周りへの配慮、後始末、ここなら良い。」

その行為をしても良い場所を具体的に伝え、後始末を自分でする習慣作りが大切です。



気になる行動については、まず、行動の意味や原因を考えることが大切です。相手の気を引く、嫌悪事態の回避…等、色々な理由が考えられます。まずは行動や気持ちを受けとめ、家族や支援者としての気持ちを伝えるアイ(1)・メッセージ。「私はこう思うよ」と伝えていくことが効果的とのことでした。性教育を考えていくうえで、恋愛や結婚等の目標を持つことが重要です。目標と一緒に考え、「ダメ」ではなく、「これなら良い」をたくさん広げていけるような支援を行っていきたいと感じました。

# 東遠地域自立支援協議会 放課後等デイサービス連絡会 研修会

12月13日に菊川市西方地区センターの会議室を使用して、東遠地域自立支援協議会放課後等デイサービス連絡会を行いました。対象は東遠地域の放課後等デイサービス事業所の支援者、各市町福祉課の担当で40名の方が参加されました。

今回の内容は、事業所で行われている実践発表で、「TAP株式会社 ひまわり掛川駅西校」の中西氏、「放課後等デイサービスてんとうむし」の青木氏から日々の実践の報告をいただきました。中西氏からは、重症心身障害がある児童に対しての事業所内での色々な取り組みや児童が安心して過ごせるための環境作り、支援者間の連携、家族や学校、医療機関との情報共有等、日々、大切にされている点について話がありました。一人一人の体調や状況に合わせてとても丁寧に支援されている様子が伝わってきました。



青木氏からは、複数の放課後等デイサービス事業所を利用されている児童に対して、家庭や学校、他放課後等デイサービス事業所、相談支援事業所との連携について話がありました。家庭や学校、各事業所での様子を具体的に知ること、児童の新たな一面を知り、また、支援のポイントとなる部分の共有ができ、児童に対してより丁寧な支援を行うことができたとのことでした。障害特性を理解して支援を行うことで、見通しを持って安心して過ごせることができ、より児童が主体的に過ごすことができている様子がうかがえました。

発表後の質疑応答の時間の中でもたくさんの意見交換ができ、とても有意義な時間となりました。今回のような研修会の場を設けて欲しいと各事業所から意見がありました。今後も情報共有や学びの場を継続して持ち、利用される方が安心して過ごせるように努めていきたいと思えます。

## ～相談件数～

(平成28年4月～平成29年1月)

	掛川市	菊川市	御前崎市	森町	圏域外	合計
ケア会議	110	45	33	11	16	215
電話	936	830	478	234	170	2648
訪問	296	368	206	200	38	1108
来所	66	74	29	13	0	182
合計	1408	1317	746	458	224	4153

## ご相談ください!

暮らしのこと、福祉サービスのこと、仕事のこと、  
学校のこと etc …気軽にご相談ください。

《東遠地区生活支援センター》

相談専用 TEL 0537-35-2971

Eメール [to-en-so@carol.ocn.ne.jp](mailto:to-en-so@carol.ocn.ne.jp)